

# <PET/CT検査>よくある質問

## Q. PET/CT検査はどんな検査ですか？

PET/CT検査とは、がんの早期発見の他、がんの性質（悪性度）診断や転移・再発巣の診断、あるいは治療効果判定に用いられる最新の検査です。

## Q. どのくらい時間がかかりますか？

受付～お会計まで、およそ3時間となります。

### <検査のながれ>



## Q. PET/CT検査は誰でも受けられるのですか？

基本的にはどなたでも受けられますが、重症の糖尿病の方は適切な画像を撮影できない可能性があります。また、妊娠の可能性のある方や妊娠中の方はご遠慮いただいております。

※ PET検査はがん細胞が正常細胞より多くのブドウ糖を消費する特性を利用し、ブドウ糖に似た構造の薬剤を投与し細胞の糖代謝を画像化する検査です。糖尿病の場合は当日のお薬をお休み頂くことで対応していますが、重度の場合は全体的にぼやけた画像になってしまい病変をはっきり確認できない可能性があります。

## Q. PET/CTはどんながんも発見できるのですか？

PET/CT検査はがんの診断にはきわめて優れていますが、臓器やがんの特徴により苦手とするがんもあります。  
不得意ながん：脳腫瘍、食道・胃の早期がん、尿路系の腫瘍（腎・膀胱・前立腺がん）、原発性肝がん

※ 脳腫瘍：正常脳がブドウ糖を摂取するため 食道・胃の早期がん：腫瘍体積が小さいため  
尿路系の腫瘍：投与する薬剤が尿とともに排泄されるため 原発性肝がん：代謝が通常と異なるため

## Q. 検査前に注意することはありますか？

検査までの6時間は、飲食はお控えください。飴やタブレットもお控えください。  
糖分の入っていないお茶やお水は大丈夫です。また、激しい運動や喫煙もお控えください。

※ 検査前に糖分を摂取すると、投与する薬剤が身体に回らず、糖代謝をみるできません。  
また、投与する薬剤は炎症部分にも集積するため、筋肉が炎症を起こしていると、その部分の病変を確認できない可能性があります。

## Q. 検査当日に薬は飲んでも良いですか？

糖尿病治療薬（血糖降下剤、インスリン）は使用しないでください。  
それ以外のお薬はふだん通り飲んで頂いて構いません。

## Q. PET/CT検査の1回の被曝量はどのくらいですか？

PET/CT検査の1回の被曝線量は、10～25ミリシーベルトです。ちなみに胃のX線検査では1回4ミリシーベルトです。

## Q. 検査終了後に注意することはありますか？

授乳中の方は検査後24時間は授乳をお控えください。また、10歳以下の小児との接触は2時間お控えください。それ以外はPET検査室を出れば通常の生活をしていただけます。

※ 投与する薬剤は放射性同位元素となります。半減期は110分となりますが、検査後も微量の放射線が体内に残っているため、放射線の感受性の高い傾向にある小児（10歳以下）との接触は一定時間お控えいただいています。

